

2020年5月25日

第17回日本の次世代リーダー養成塾開催に向けて

【開催に向けて】

日本の次世代リーダー養成塾は、2004年に地方自治体と経済界がスクラムを組み、世界を目指して雄飛する高校生のリーダーシップ教育を毎年、福岡県宗像市（一部佐賀県）で、2週間合宿方式で開催してきました。各分野の第一人者による講義とディスカッション、高校生が主役となって、ひとつの課題に向かって議論して解決する「アジア・ハイスクール・サミット」を中心にカリキュラムを組んできました。

今年は新型コロナ感染拡大により、全国の高校が約3か月休校となったことから、夏休みが大幅に短縮となり、従来の2週間合宿方式のリーダー塾実施は断念することにしました。

しかし、リーダー塾は、ここ数年、ボーダレスに起きる想定外の困難な問題をいかに解決するか、高校生が正面から向き合う機会を提供して参りました。新型コロナとどう私たちは立ち向かっていくのか。今、私たちが直面するかつてない難題を前にして、専門家や識者に講義をしていただき、質問をぶつけて、さらにポスト・コロナ時代の社会を次世代の高校生がどう形作っていくのかを徹底的に考え、議論をしていくことが急務と考え、8月から9月にかけて、オンラインによる講義とディスカッションを重ねた上で、9月下旬に発表会を兼ねて福岡県宗像市に4日間集まる二段構えで実施することとしました。

講師は、マハティール・マレーシア前首相、明石康・元国連事務次長、山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所教授、村木厚子・元厚生労働省事務次官ら約20人が講義を行います。

「アジア・ハイスクール・サミット」では、「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ社会をどう変革していくか～高校生からの提案」（仮題）と題してクラス別に討議して、9月に福岡県宗像市の発表会に臨みます。しかし、参加高校生の安全を第一に考え、その後の新型コロナ感染の状況で、実施方法がオンラインなどに替わることがあります。

すでに多くの応募をいただいておりますが、この方式での参加を希望するか、担当者から順次、連絡いたします。参加費も変更しておりますので、募集要項をご参照ください。

【具体的な実施期間と方法】

集中オンライン講義

8月8日（土）から8月12日（水）までの5日間（午前中から夕方まで）

日曜日のオンライン講座

8月23日、8月30日、9月6日、9月13日の4回（午前中から夕方まで）

アジア・ハイスクール・サミット

それぞれのクラス別に集中講義期間中と日曜日は夕方に行います。

クラスによっては、会期中8月から9月にかけて夜間に実施する場合があります。

発表会を兼ねた合宿

9月19日（土）～9月22日（火）＝グローバルアリーナにて

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルスの感染が拡大し続け、日本政府は4月16日から「緊急事態宣言」を全国に拡大しました。現在は段階的に解除されていますが、依然として解除されていない地域もあります。また、長期間にわたる学校の休校にとともに、高校生の夏休み期間が大幅に短縮されることとなりました。このことを踏まえ、今年の第17回日本の次世代リーダー養成塾は、日程を変更し、オンライン講義と合宿を組み合わせた開催に変更します。また、3月から学校が休校となり、再開していないところもあることから、募集期間を更に延長します。

前回と変更した箇所は黄色で表示していますので、下記をご参照ください。

参加高校生の安全を最優先させていただきたいと存じますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 応募者の応募・選考について

- (1) 一般公募枠の募集締め切りは5月8日（金）としていましたが、5月29日（金）締め切りとします。→一般公募枠の募集期間を更に延長し、6月22日（月）締め切りとします。
- (2) 一般公募の応募者に対して5月に行う予定の面接は中止して、選考は書類選考のみとします。
- (3) 毎年、アジア各国から高校生を招待している「アジア奨学生」は、今年は招待を中止します。
- (4) 開催方法をオンライン講座と合宿を組み合わせた形式に変更します。日程は下記のとおりです。
 - ①オンライン講座 2020年8月8日(土)～12日(水) 5日間
2020年8月23日(日)、30日(日)、9月6日(日)、13日(日) 計4回
 - ②合宿・発表会 2020年9月19日(土)～22日(火) 3泊4日
場所：グローバルアリーナ：福岡県宗像市吉留46-1
(同市内他の宿泊施設を利用する場合があります。)
- ①②すべてのプログラムに参加可能な方を対象とします。詳細は最新の募集要項を確認してください。
- (5) 一般公募枠、参画県・市推薦枠共に、応募者が海外から帰国して塾に参加する場合、合宿初日1ヶ月の8月18日までに海外から帰国した方に限ることとします。

※厚生労働省は海外からの帰国者に対し、入国した翌日から起算して14日間を自宅等で待機していますが、弊塾では慎重を期すため合宿初日1ヶ月前とします。
- (6) 現在すでに応募いただいている方へは、新しい募集要項をご覧いただき、応募の意思に変更がないか確認します。

* 参画県・市推薦枠の募集期間などは、参画県・市の募集要項をご参照ください。

2. 合宿期間前の対応について（一般公募枠、参画県・市推薦枠共通）

- (1) 合宿期間前に検査で陽性になった合格者は、事務局へ連絡してください。この場合も海外から帰国

して参加する場合と同様に慎重を期すため、合宿初日1ヶ月の8月18日までに退院した方、もしくは、保健所が指定した宿泊療養・自宅療養から解除された方に限り、参加が可能となります。退院等がなされたことが確認できる書類を提出してください。

- (2) 検査で陽性となり、塾に参加できない場合は参加費を返還します。検査で陽性となったことが確認できる書類を提出してください。
- (3) 合宿初日2週間前から毎日、検温し、発熱等のかぜ症状が見られるときは、合宿への参加を見合わせてください。また、検温の記録を入塾時の受付にて提出してください。

3. 合宿期間中の対策

- (1) 厚生労働省が5月4日に発表した新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」(次頁参照)に則した対応を行います。
- (2) 1日2回(朝・夜)に検温し、記録をつけます。
- (3) 期間中はマスクの着用を必須とします。
- (4) 参加者には、手洗いを徹底させます。せっけん、アルコール消毒液を常設します。
- (5) 講義の際は、間隔をあけて着席できるよう机と椅子を配置します。対面で人と人との距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離)を一定時間以上続けないようにいたします。
- (6) 講義が終わったら、毎時間、室内の換気をします。
- (7) 宿泊部屋でも、換気をいたします。
- (8) 次の行為は感染のリスクが高いため、禁止をいたします。
 - ① ペットボトルの回し飲み、コップの使い回し等
 - ② 同じお皿や袋からの飲食
 - ③ タオル等の共有
- (9) 期間中は看護師が常駐し、健康管理を行います。

4. その他

この対応は、現時点(2020年5月25日)で、厚生労働省など関連諸機関の情報をもとに決定をいたしました。今後、ウイルスの性質が解明され、または、感染の拡大状況に応じて、対応策はこの限りではありません。

以上、ご理解をいただきたいと存じます。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びにいくなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定